

# プログラム

第1日目 2019年8月2日(金)

会場：神戸国際会議場

8:50～9:00 開会挨拶

9:00～10:20 シンポジウム1

第1会場(3階 国際会議室)

座長：吉村 昭彦(慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室)

中村 志郎(兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門)

## [ 臓器別疾患とサイトカイン ]

### S1-1 潰瘍性大腸炎 内科治療の進歩と現状

○中村 志郎<sup>1)</sup>、宮崎 孝子<sup>1)</sup>、樋田 信幸<sup>1)</sup>、渡辺 憲治<sup>2)</sup>

1) 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門、2) 兵庫医科大学 腸管病態解析学講座

### S1-2 クロウン病に対する ustekinumab (UST) の有効性の検討

○宮崎 孝子<sup>1)</sup>、賀来 宏司<sup>1)</sup>、木下 直彦<sup>1)</sup>、小島 健太郎<sup>1)</sup>、小柴 良司<sup>1)</sup>、藤本 晃士<sup>1)</sup>、  
佐藤 寿行<sup>2)</sup>、河合 幹夫<sup>1)</sup>、上小鶴 孝二<sup>1)</sup>、横山 陽子<sup>1)</sup>、樋田 信幸<sup>1)</sup>、渡辺 憲治<sup>2)</sup>、  
中村 志郎<sup>1)</sup>

1) 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門、2) 兵庫医科大学 腸管病態解析学

### S1-3 肺免疫と DAMP 誘導型アジュバント

○黒田 悦史<sup>1)2)</sup>、石井 健<sup>2)3)</sup>

1) 兵庫医科大学 免疫学講座、2) 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター、  
3) 東京大学 医科学研究所 感染免疫部門 ワクチン科学分野

### S1-4 脳内炎症における制御性 T 細胞の意義の解明

○伊藤 美菜子、吉村 昭彦

慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室

10:25～11:45 シンポジウム2

第1会場(3階 国際会議室)

座長：西城 忍(千葉大学真菌医学研究センター)

大野 博司(理化学研究所生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム)

## [ 腸内細菌叢と疾患 ]

### S2-1 腸内細菌叢と疾患の発症・病態との関わり

○大野 博司<sup>1)2)</sup>

1) 国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 粘膜システム研究チーム、  
2) 神奈川県立産業技術総合研究所 腸内細菌叢プロジェクト

### S2-2 腸内細菌は腸管における病原性真菌の定着を阻害する

○後藤 義幸<sup>1)2)</sup>

1) 千葉大学 真菌医学研究センター 感染免疫分野、  
2) 東京大学 医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター 粘膜共生学分野

## S2-3 常在グラム陰性細菌に対する Caspase-11 インフラマソームの制御機構

○山本 雅裕

大阪大学 微生物病研究所 感染症態分野

## S2-4 乳酸菌による粘膜免疫の賦活と腸管恒常性の維持

○辻 典子

産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門

10:50~11:50

## 若手奨励賞セッション1

第2会場(4階 401 + 402)

座長：高岡 晃教(北海道大学遺伝子病制御研究所分子生体防御分野)

岩倉 洋一郎(東京理科大学・生命医学研究所)

## YO-01 IL-12 ファミリーサイトカインの共通サブユニット EB13 による樹状細胞の成熟化における MHC クラス I 発現の増強

○井上 慎也<sup>1)</sup>、溝口 出<sup>2)</sup>、長谷川 英哲<sup>2)</sup>、折井 直子<sup>2)</sup>、川名 千晶<sup>2)</sup>、米戸 敏彦<sup>2)</sup>、徐 明利<sup>2)</sup>、善本 隆之<sup>2)</sup>

1) 東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科、2) 東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門

## YO-02 全身性真菌感染症によって誘導される IL-10 高産生新規ヘルパー T 細胞サブセット Tr2 の同定

○但馬 正樹<sup>1)2)3)</sup>、Strober Warren<sup>2)</sup>

1) 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター 免疫機構研究部、  
2) Laboratory of Clinical Immunology and Microbiology, NIAID, NIH、  
3) 京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学

## YO-03 抑制性受容体 CD300a を介した肥満細胞脱顆粒の自己調節

○Wang Yaqiu<sup>1)2)</sup>

1) 筑波大学 グローバル教育院 ヒューマンバイオロジー学位プログラム、2) 筑波大学 免疫学研究室

## YO-04 当科における好酸球性副鼻腔炎合併難治性気管支喘息3症例に対する Benralizumab の治療経過

○吉川 卓宏、横山 雄一、古川 哲也、田村 誠朗、橋本 哲平、森本 麻衣、東 直人、松井 聖

兵庫医科大学 内科学 リウマチ・膠原病科

## YO-05 生物に普遍的に存在する分泌型リボネクレーゼ遺伝子欠損マウスの表現型解析

○王 辰<sup>1)</sup>、角田 茂<sup>1)</sup>、小川 哲弘<sup>2)</sup>、岩本 京夏<sup>2)</sup>、餅井 眞太郎<sup>1)</sup>、Desamero Mark Joseph<sup>1)</sup>、藤井 渉<sup>3)</sup>、チェンバース ジェームズ<sup>4)</sup>、内田 萌菜<sup>5)</sup>、村山 正承<sup>6)</sup>、小川 修平<sup>6)</sup>、米澤 智洋<sup>5)</sup>、中山 裕之<sup>4)</sup>、岩倉 洋一郎<sup>6)</sup>、久和 茂<sup>1)</sup>

1) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 実験動物学研究室、  
2) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 分子育種学研究室、  
3) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用遺伝学研究室、  
4) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医病理学研究室、  
5) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 臨床病理学研究室、  
6) 東京理科大学 生命医学研究所 実験動物学研究部門

## YO-06 IgG4 関連疾患の組織傷害は IgG4 抗体と CTLs の協調的反応で起こる

○佐々木 貴紀<sup>1)2)</sup>、久保 允人<sup>1)3)</sup>

1) 東京理科大学 生命医学研究所 分子病態学研究部門、2) 慶應義塾大学 医学部 リウマチ膠原病内科、  
3) 理化学研究所 IMS サイトカイン制御研究チーム

## YO-07 様々な脳内炎症における制御性 T 細胞の意義の解明

○伊藤 美菜子

慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室

### 12:00～13:00 ランチョンセミナー1

第1会場(3階 国際会議室)

座長：土橋 浩章(香川大学医学部附属病院 膠原病・リウマチ内科)

#### LS1 自己免疫性疾患・炎症性疾患における IL-6 シグナル阻害の意義

○池田 啓

千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科

共催：中外製薬株式会社

### 12:00～13:00 ランチョンセミナー2

第2会場(4階 401+402)

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長/兵庫医科大学 名誉教授)

#### LS2 リウマチ性疾患におけるサイトカイン標的治療

○田中 良哉

産業医科大学 医学部 第1内科学講座

共催：あゆみ製薬株式会社

### 13:10～14:10 ポスター発表(P-14～P-31)

ポスター会場(3階 レセプションホール)

### 14:15～15:35 シンポジウム3

第1会場(3階 国際会議室)

座長：藤田 尚志(京都大学 ウイルス・再生医学研究所・分子遺伝学)

西小森 隆太(久留米大学 医学部 小児科)

## [ ウイルスと自己炎症疾患 ]

#### S3-1 I 型インターフェロン症：Aicardi-Goutières 症候群

○西小森 隆太<sup>1)</sup>、井澤 和司<sup>2)</sup>、八角 高裕<sup>2)</sup>

1)久留米大学 医学部 小児科、2)京都大学医学部附属病院 小児科

#### S3-2 I 型インターフェロノパチー(AGS 以外)

○井澤 和司<sup>1)</sup>、八角 高裕<sup>1)</sup>、西小森 隆太<sup>2)</sup>

1)京都大学医学部附属病院 小児科、2)久留米大学 医学部 小児科

#### S3-3 MDA5の恒常的活性化がもたらすシングレトン・マートン症候群様の骨形成異常

○早田 信正<sup>1)</sup>、坂井 信裕<sup>2)</sup>、加藤 博己<sup>1)3)</sup>、高見 正道<sup>2)</sup>、藤田 尚志<sup>1)</sup>

1)京都大学 ウイルス・再生医学研究所 分子遺伝学分野、2)昭和大学 歯学部 歯科薬理講座、  
3)ボン大学 ボン大学病院 分子医学研究所

### S3-4 細胞質ウイルス RNA センサーの異常による自己免疫疾患

○藤田 尚志<sup>1)</sup>、大音 泰介<sup>1)</sup>、Abu Tayeh Ahmed<sup>1)</sup>、Emralino Lianne<sup>1)</sup>、Lee Sumin<sup>1)</sup>、  
清水 翔太<sup>1)</sup>、早田 信正<sup>1)</sup>、橋本 匡太<sup>1)</sup>、佐藤 沙耶<sup>1)2)</sup>、加藤 博己<sup>1)2)</sup>

1) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 分子遺伝学分野、

2) Institute of Cardiovascular Immunology, University of Bonn

15:45～16:45

#### イブニングセミナー1

第1会場(3階 国際会議室)

座長：松井 聖(兵庫医科大学 内科学リウマチ・膠原病科)

### ES1 臨床応用が進むがん免疫療法の基礎

○西川 博嘉<sup>1)2)</sup>

1) 名古屋大学大学院医学系研究科、2) 国立がん研究センター 研究所

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／小野薬品工業株式会社

15:45～16:45

#### イブニングセミナー2

第2会場(4階 401+402)

座長：田村 直人(順天堂大学 医学部 膠原病内科)

### ES2 脊椎関節炎 Update ～IL17阻害薬の役割～

○岸本 暢将

聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center

共催：ノバルティスファーマ株式会社

16:55～17:55

#### 特別講演

第1会場(3階 国際会議室)

座長：佐野 統(京都岡本記念病院 院長／兵庫医科大学 名誉教授)

### SL 免疫・炎症応答に関わるリボヌクレアーゼ Reganase-1

○審良 静男

大阪大学免疫学フロンティア研究センター

18:05～

#### 懇親会

ポスター会場(3階 レセプションホール)